

経済指標レポート 第205号

(社) 関西経済連合会 経済グループ (担当: 高島)

Tel : 06-6441-0102 Fax : 06-6443-5347

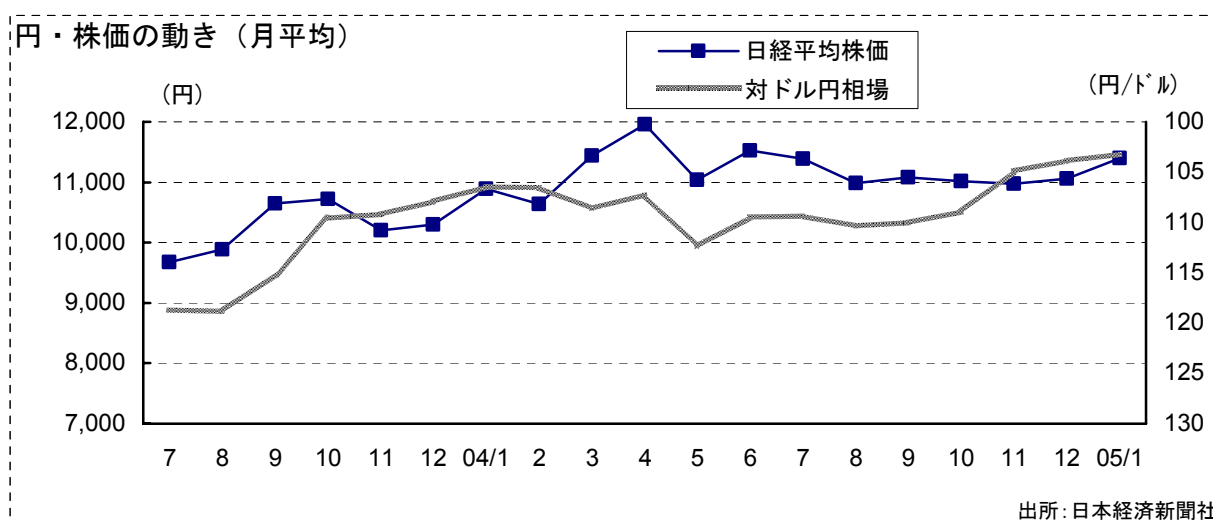
先日、発表された昨年10～12月のGDP速報値はマイナス0.1%と3期連続でマイナスとなり、2月の月例経済報告で政府も「景気回復が緩やかになっている」ことを認めた。一方で、雇用は厳しさが残るものの、ゆっくりと改善している。近畿の12月完全失業率は4.5%と、前年比で0.7ポイント、前月比で0.4ポイント改善し2か月連続4%台を維持した。また、新卒者の就職活動についても、今年度は「売り手市場」であったとする評価が「買い手市場」との見方を大きく上回った。

このように当面の緩やかな経済回復を踏まえつつ、少し中長期的に考えると、少子高齢・人口減少社会の急速な進展によって今後、わが国経済社会で労働力不足が顕著になることが予想される。すでに、わが国の15歳から64歳までの生産年齢人口は1990年代初頭をピークに減少の一途をたどっている。

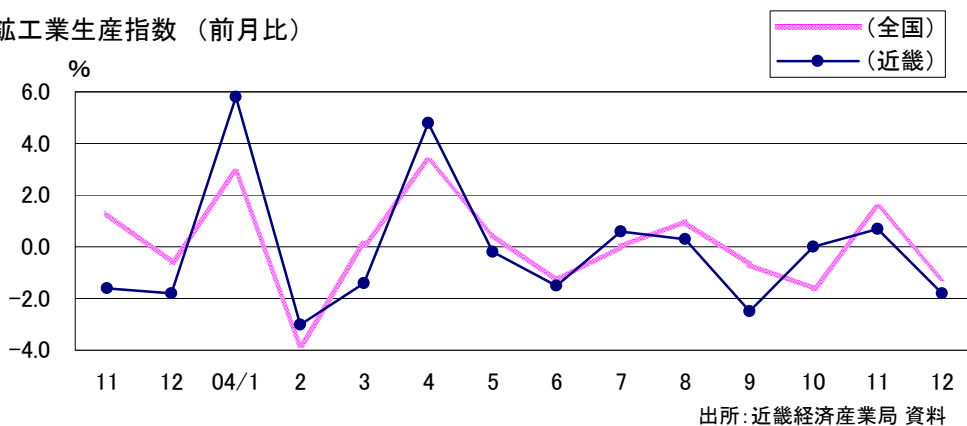
今月3日～4日に開催された第43回関西財界セミナーにおいても、少子化を食い止める方策について活発な議論が行われた。育児手当など公的な支援の必要性を指摘する意見もあったが、深刻な財政事情を考えると大幅な支援は期待できない。むしろ男女の働き方や職場の意識を変えて、仕事と家庭の両立を図ることが重要であり、経営者自身の努力も大いに必要であるとの意見が多く出された。

グローバルな企業競争力の維持・向上のためには、女性も含めた「多様な労働力」の一層の活用を進め、その一環として出産・育児に関するきめ細かな支援制度を設けている外資系企業の事例も紹介された。企業にとって最も重要な経営資源である「人材」一人ひとりが、その能力を發揮できる環境整備を実現できるかどうか。これまでの企業風土や職場環境も含めて思い切った見直しの時期が来ている。

<各指標の動き>

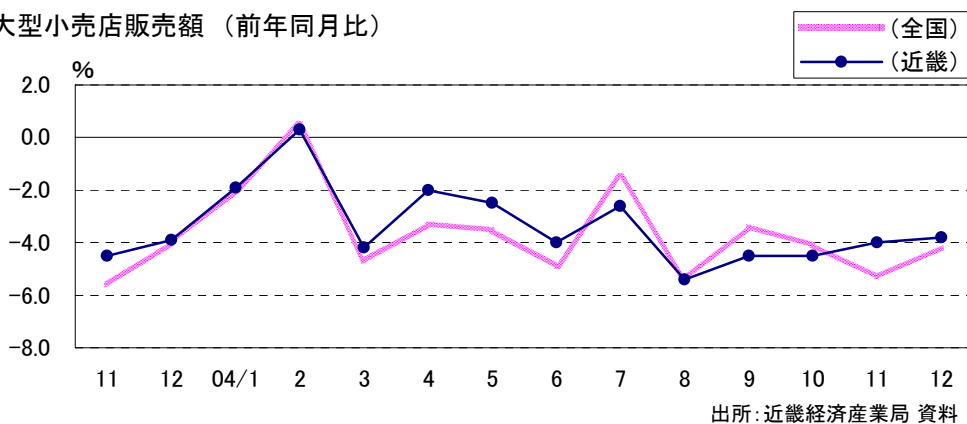


鉱工業生産指数（前月比）



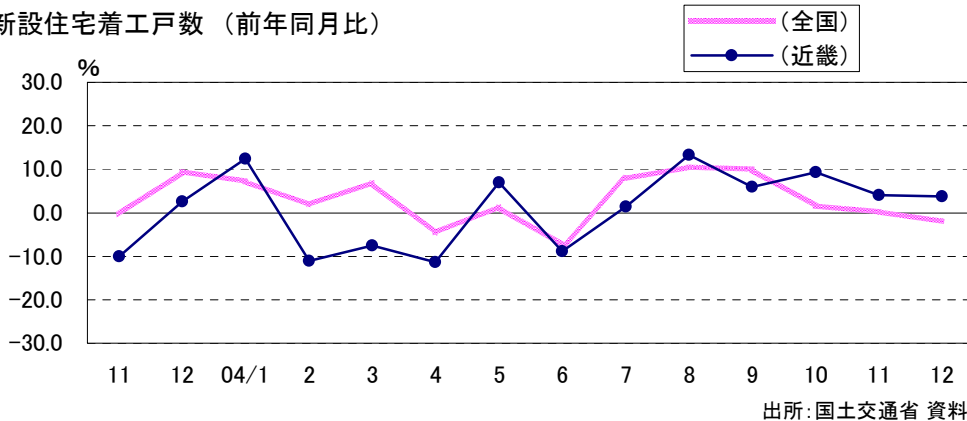
◇近畿は前月比 0.8%減、一進一退の動きで推移している。低下に寄与した業種は、電気機械工業、電子部品・デバイス工業など。

大型小売店販売額（前年同月比）



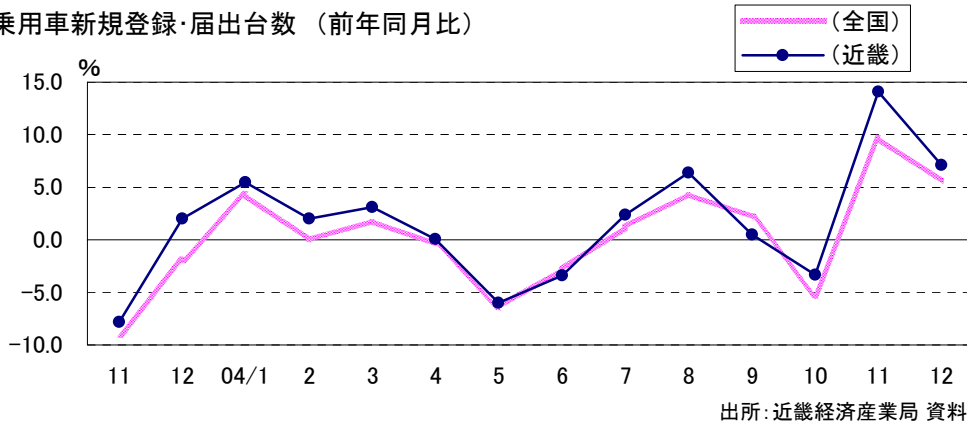
◇近畿は前年比 3.8%減。気温が高めに推移し、冬物商品をはじめほとんどの商品が不調。百貨店は歳暮ギフト早期受注の反動減等からマイナス、スーパーは鍋物食材の動きが鈍った飲食料品等が振るわずマイナス。

新設住宅着工戸数（前年同月比）



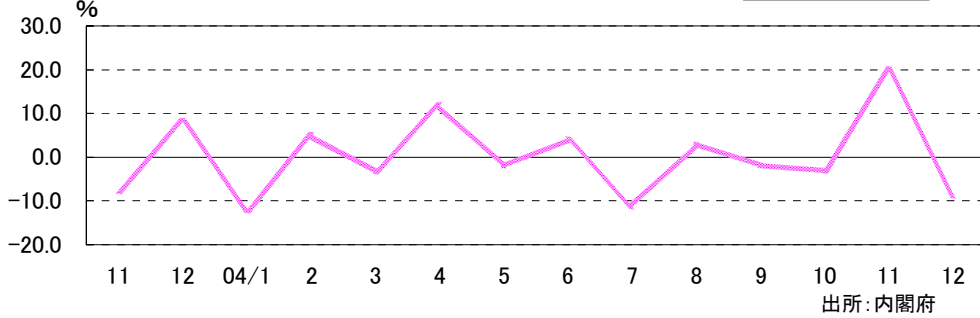
◇近畿は前年比 3.8%増。持家は減少したが、貸家、分譲住宅は増加した。分譲住宅のうち分譲マンションの需要も堅調な動きをみせている。

乗用車新規登録・届出台数（前年同月比）



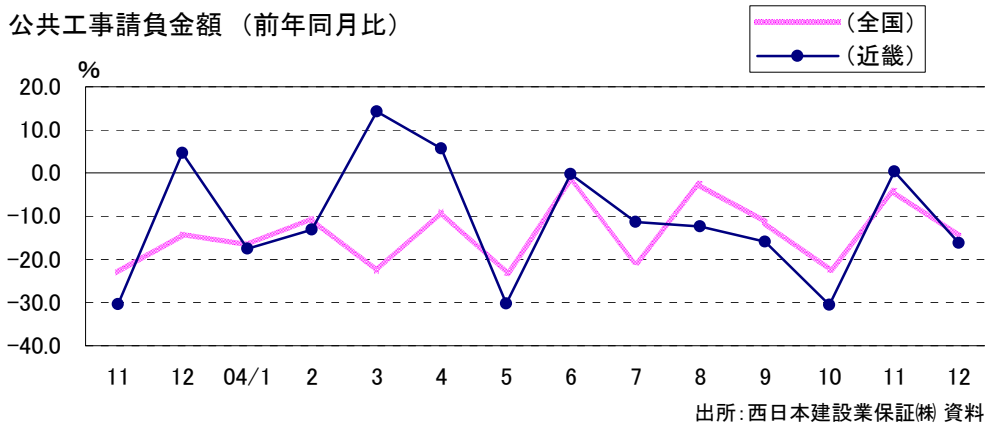
◇近畿は 7.1%増。車種別では普通車、小型車、軽四車がそれぞれ前年を上回った。小型車は、新車投入効果により好調で前年比 12.5%増となった。

機械受注：民需除く船舶、電力(前月比)



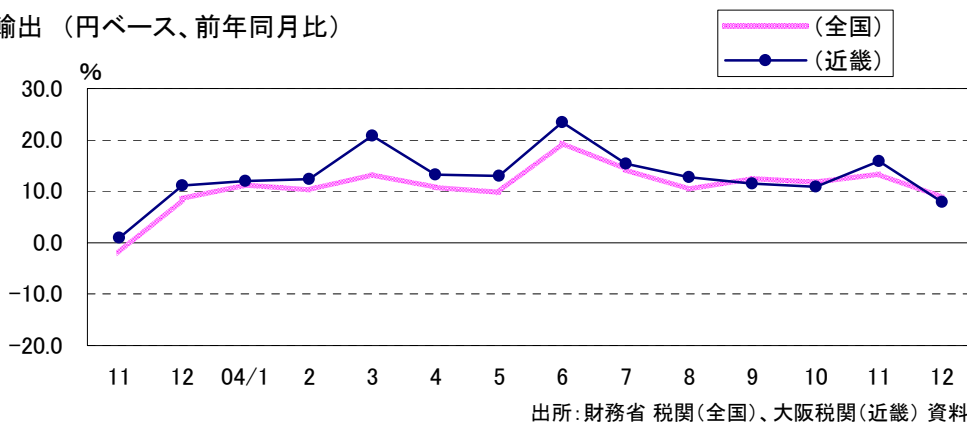
◇機械受注は前月比8.8%減。前月に大きく伸びた金融・保険業や通信業からの受注の反動減によって2か月ぶりの減少となった。

公共工事請負金額 (前年同月比)



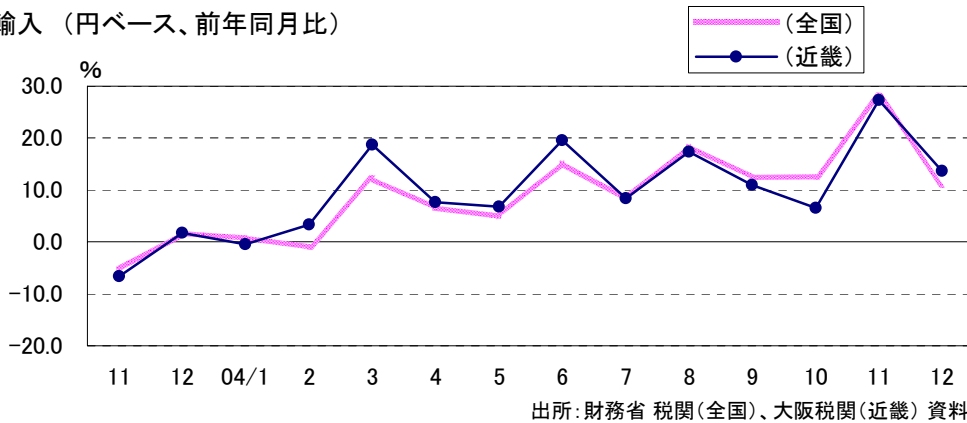
◇近畿は前年比16.2%減。公団事業等で増加したが、国で半減したほか府県が奈良以外で減少し、その他の公共的団体はポータライナー延伸工事の反動減により大幅減、市町村は2桁減となった。

輸出 (円ベース、前年同月比)



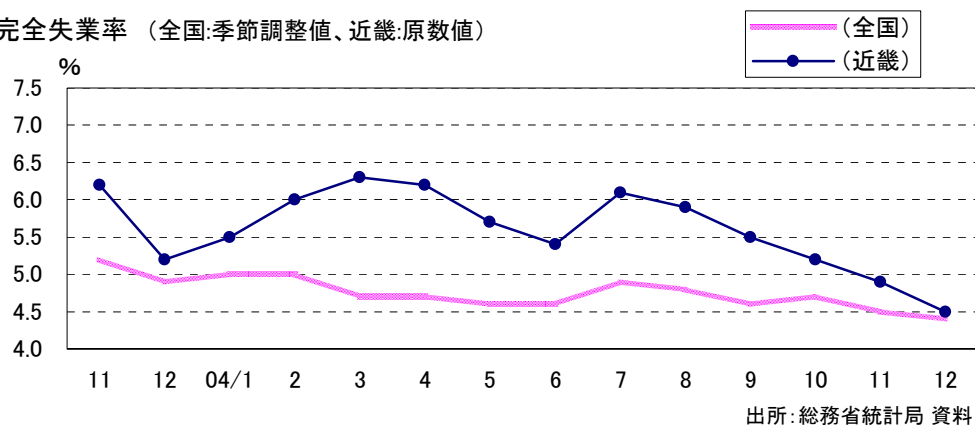
◇近畿は前年比7.9%増。33か月連続のプラスで推移しており、7か月連続の1兆円超となる。品目別では、原動機、鉄鋼、半導体等電子部品などが増加に寄与した。

輸入 (円ベース、前年同月比)



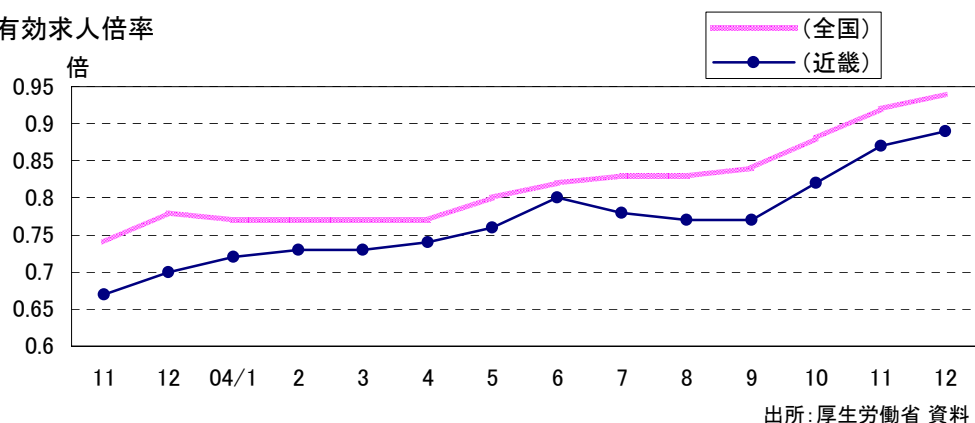
◇近畿は前年比13.7%増。輸出入とも貿易額としては過去3番目の水準となった。天然ガス・製造ガス、原粗油、鉄鋼などが増加に寄与し11か月連続のプラス。

完全失業率（全国:季節調整値、近畿:原数値）



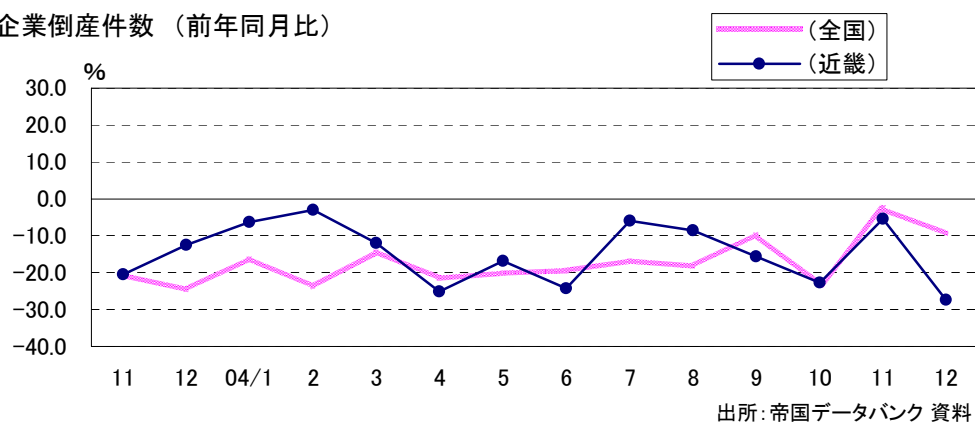
◇近畿は 4.5%。前年比 0.7 ポイント、前月比 0.4 ポイント改善し 2 か月連続 4%台を維持した。完全失業者は前年比 8 万人減の 46 万人。

有効求人倍率



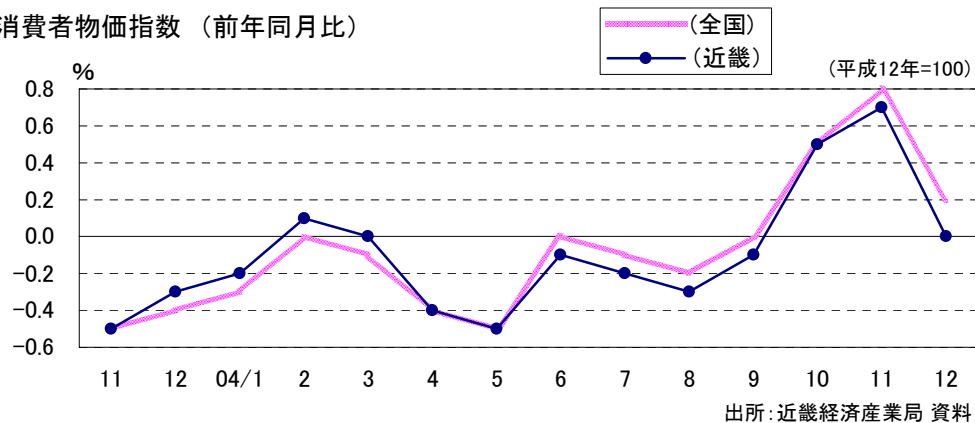
◇近畿は 0.89 倍。滋賀県は 1.11 倍、3 か月連続して 1 倍を超えた。大阪は 4 か月連続改善し 0.97 倍、新規求人数 (51,402 人) は 12 月の過去最高値となった。

企業倒産件数（前年同月比）



◇近畿は 223 件、前年比 27.4%減。大型倒産が発生したが負債も前年を下回った。資本金別にみると依然として零細企業の倒産が構成比の約 8 割を占める。

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は 97.5。パソコンなど教養娯楽や家具・家事用品に落ち込みがみられる。デフレ圧力はやや和らいだが、食料等の押し上げは天候不順等の特殊要因による影響も大きいとみられる。